



熊本市 感染症発生動向調査 速報

新型コロナウイルス(COVID-19)の情報は上記のQRコードから。

●ヒトメタニューモウイルス(hMPV)感染症について

ヒトメタニューモウイルス(hMPV)感染症は急性の呼吸器感染症で、小児の呼吸器感染症の5~10%を占めると考えられています。生後6ヶ月頃から感染が始まり、2歳までに50%、10歳までにほぼ全員が感染すると言われています。また、一度の感染では十分な免疫がつかないので、何度でも感染します。小児や高齢者施設での集団発生の原因の一つになっており、注意が必要です。

◆どんな病気？

・**症状**…発熱、咳、鼻水をともなう一般的な風邪症状のような状態になりますが、重症化するとやがて肺の下部気道を侵して、細気管支炎(RSウイルスに次ぐ細気管支炎の重要な原因ウイルスです)や肺炎、喘息に似た発作や、呼吸困難を引き起こすこともあります。新生児や乳幼児、及び高齢者や免疫不全の方、心肺障害を基礎疾患として持っている人は、重症化する恐れがあるので注意が必要です。ごくまれですが、脳炎/脳症の報告もあります。

・**潜伏期間**…4~6日程度

・**感染経路**…感染者の咳やくしゃみのしぶきを吸い込む飛沫感染、ウイルスが付着した手や物を触ったりなめたりすることによる接触感染があります。

・**流行期**…通年(2月~6月に多い)

◆かかったらどうすればいいの？

・特効薬はありませんので、治療は基本的には対症療法になります。

◆予防法は？

・手洗い、アルコール製剤などで手指を衛生的に保ちましょう。

子どもたちが日常的に触れるおもちゃや手すりなどは、アルコールや塩素系(次亜塩素酸ナトリウム消毒液の作り方は別紙添付資料をご確認ください。)の消毒剤などでこまめに消毒するようにしましょう。



期 間		2020年 10週		2020年 11週	
		3/2~3/8		3/9~3/15 (最新)	
疾患名 <small>(百日咳は平成30年1月1日より全数報告へ変更になりました)</small>	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	↑	9	0.36	14	0.56
RSウイルス感染症	→	5	0.31	4	0.25
咽頭結膜熱(プール熱)	↑	3	0.19	0	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑	31	1.94	18	1.13
感染性胃腸炎	↑	34	2.13	24	1.50
水痘(みずぼうそう)	→	6	0.38	7	0.44
手足口病	↑	10	0.63	2	0.13
伝染性紅斑(りんご病)	↑	13	0.81	8	0.50
突発性発しん	→	9	0.56	9	0.56
ヘルパンギーナ	→	0	0.00	0	0.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	1	0.06	0	0.00
急性出血性結膜炎	→	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	→	3	0.60	2	0.40
細菌性髄膜炎	→	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	→	0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	→	0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	→	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	→	0	0.00	0	0.00